お隣から木の枝葉が越境してきたら…

民法の新ルールを学んで解決しましょう

これまでは自分で切ることができなかったお隣から越 境してきた木の枝葉が、民法の改正により、条件次第 で切ることができるようになりました。

原 則

まずは登記*1などで所有者を確認*2して、 切ってくれるようお願いしましょう

- * 1 最寄りの法務局で取得することができます * 2 通常、木が生えている土地の所有者が木の所有者となります

新 ル ル

次の3つのケースに当てはまる場合は、越境され た方が自分で切ることができるようになりました

ケース(1)

所有者にお願いした が切ってくれない



所有者に催告書を送り ましょう



相当期間*⁴たっても 切ってくれない

*4 少なくとも2週間以上



ケース(2)

所有者*3 が誰なのか、どこにいるの か分からない

*3 共有地の場合は共有者 全員が分からないとき

例)登記などを調 べても所有者の記 載がない場合など



ケース③

急いで切らないと 自分の生命や財産に 重大な危害が及ぶと いった緊急事態

例)台風で枝が折れ、 自分の建物が傷つき そうな場合など





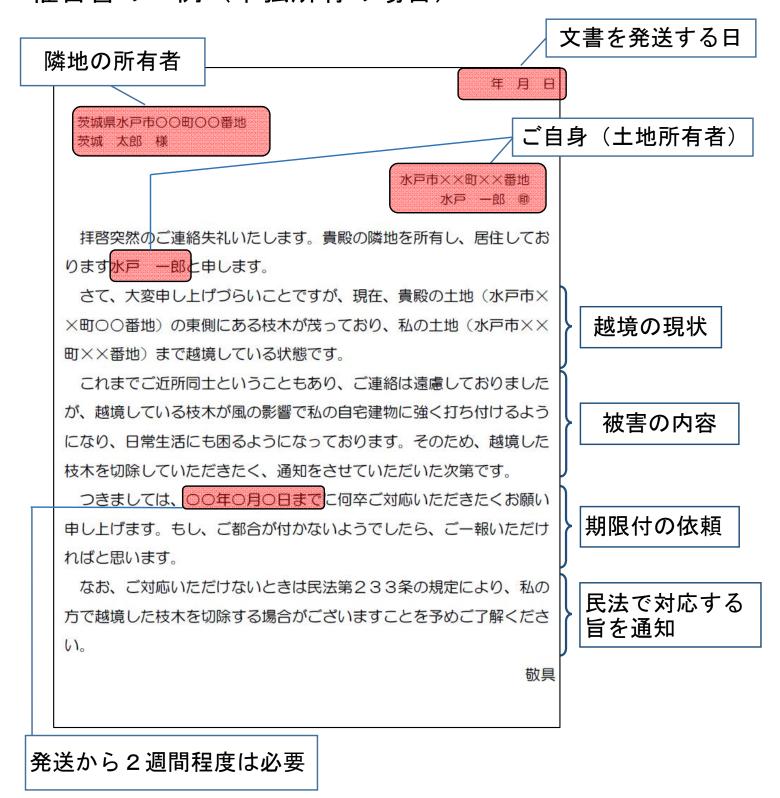
自分で越境してきた枝葉を切ることができます

民法第233条

次ページに催告書の一例や相談窓口のご案内を掲載してお りますので参考にしてください。

※法的に切ることができるのは越境された方ですので、市とし て枝葉を切ることはできません

催告書の一例(単独所有の場合)



※上記は一例です。ご自身の状況に併せて内容を変更してください。

ご自身での判断が難しい場合などは、専門家にご相談ください。 市では無料の相談を実施しています。

〇弁護士等による相談は 市民相談室 電話: 029-232-9109